

# 技術動向統計

第 1 号  
平成18年8月

総合政策局  
建設施工企画課

## 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

順位	前月 順位	技 術 名	活 用 件 数	技 術 の 概 要	
			NETIS番号		
1	NEW	W/Cミータ	HR-990025	28	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械（従来は単位容積当たり質量から水分量を算出＝エアメーター法）
2	NEW	デルタクッション	TH-020040	23	緩衝材を車道に敷かれたシートに固定することで、車両追突時の跳ね飛びを防止した、もらい事故防止用衝撃緩衝材
3	NEW	残存型枠工法「プロテックピアスワンダー」	CB-980008	17	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
3	6	パワーブレンダー	CB-980012	17	改良材をスラリー状に混練後バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
3	18	大型遠隔自動操縦除草機械	HR-990023	17	安全対策として法面での転倒を防止するため低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
6	12	手摺先行型足場	KT-010074	14	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
7	NEW	凍結防止剤散布車の自動化技術の開発	HR-990022	12※	凍結防止剤を湿潤化して横風の影響を調整して散布することで飛散を防止し、ステンレス材の採用によりメンテナンス性を向上した凍結防止剤散布車
8	NEW	コンクリート景観調和剤	TH-990120	9	廃棄タイヤを原料としたコンクリートの圧縮強度向上および岩色系の着色を行う調和剤
9	NEW	残存化粧型枠「プロテックマーク」	CB-980007	8	表面に意匠性の有るコンクリート製化粧パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
9	NEW	新粗石コンクリート工法	HR-020032	8	現場で発生した粗石を敷き詰め、流動性の高いコンクリートを流し込み、粗石間に浸透させることで砂防構造物を構築する工法
9	NEW	ハイブリッドシリカ地盤強化材	QS-980156	8	浸透性に優れた水ガラス系グラウト材と強度・耐久性に優れたセメント系グラウト材両方の利点を有したシリカ系グラウト材
9	NEW	植物誘導吹付工	QS-980200	8	現場で発生した植物廃材を破碎し、土壌微生物の活性化を促進する酵素添加剤と混ぜたものを吹き付けることで緑化を行う工法

※毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
（活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映）

（平成18年6月期）

## 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

### 平成18年 7月の新技術活用ランキング

順位	前月 順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	47	道路舗装人孔鉄蓋後付工法「エポ工法」	CB-980048	28	舗装作業時に障害となる人孔上部を舗装終了後に舗装を円形に切断し設置することで舗装の作業性と平坦性を向上させた工法
2	NEW	ピタリング（簡易式体感マット）	TH-040016	10	リング状の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらないもらい事故防止用体感マット
3	6	手摺先行型足場	KT-010074	8	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
4	30	排水性トップコート工法	KT-980202	7	排水舗装の表面に特殊な樹脂を散布し、強固な皮膜を形成させることにより、排水性機能を維持したまま、耐摩耗性や骨材飛散などに対する耐久性を向上させる工法
4	99	枠組み足場用安全装備	TH-020019	7	従来の枠組足場に後付けすることで、転落事故を防止する手摺先行型足場としての使用が可能となる装備品
7	99	ソイルセメント合成鋼管杭工法（H Y S C杭）	KT-980320	6	セメントミルクを注入しながら地盤を掘削攪拌しつつ鋼管を埋め込み、鋼管と一体化したソイルセメント柱を同時に造成することで高い支持力が得られる基礎杭工法
7	47	ガンテツパイル	KT-980188	5	セメントミルクを注入しながら地盤を掘削攪拌し造成されたソイルセメント柱に、鋼管を埋め込み、ソイルセメント柱と一体化させることで高い支持力が得られる基礎杭工法
9	22	ワイヤーソーイング工法	KT-980222	5	ダイヤモンドチップを埋め込まれたループ状のスチールワイヤーを高速回転させることにより糸ノコギリの要領で構造物を切断・解体する工法
9	NEW	プレキャスト樋門工法	HK-030028	4	従来現場打ちコンクリートにて施工していた樋門函体をプレキャスト製品で築造することにより強度およびひび割れ抵抗性を向上する工法
9	3	大型遠隔自動操縦除草機械の開発検討	HR-990023	4	安全対策として法面での転倒を防止するため低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
9	1	W/Cミータ	HR-990025	4	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械（従来は単位容積当たり質量から水分量を算出＝エアメータ法）
9	99	安全対策シリーズ	KT-030018	4	遠隔操作により緩衝材と規制表示板を設置できるため、車線規制時の作業員の安全性を向上させた規制仕様車輛およびアウトリガ反力の状態によりブームを動きを制限する転倒防止機能付移動式クレーン
9	NEW	ザッソレス	KT-050065	4	耐暑性、耐寒性に優れ、他の植物の根の伸張を阻害する成分を茎葉部に多く含むため雑草の侵入を抑制する芝草

注）毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
（活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映）

（平成18年7月期）

## 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

### 平成18年 8月の新技術活用ランキング

順位	前月 順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	NEW	植物誘導吹付工	QS-980200	9	現場で発生した植物廃材を破碎し、土壌微生物の活性化を促進する酵素添加剤と混ぜたものを吹き付けることで緑化を行う工法
2	9	大型遠隔自動操縦除草機械の開発検討	HR-990023	7	安全対策として法面での転倒を防止するため低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
2	3	手摺先行型足場	KT-010074	7	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
4	NEW	「パワーブレンダー工法」スラリー噴射方式	CB-980012	6	改良材をスラリー状に混練後バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
5	NEW	ライン導水ブロック・F型	KK-020004	5	ブロック内部の排水用水路と表面の排水流入用スリットを設けることで降雨時の路面排水能力を向上させる歩車道境界ブロック
5	NEW	リテラ (BZ210・BZ200・BZ120)	KK-980067	5	建設発生土の土質を現地で改良することで改良プラントまでの土砂運搬等を省略して発生土のリサイクルを可能とする自走式土質改良機械
5	NEW	ジオファイバー工法	KT-980183	5	砂質土と連続繊維(回収ペットボトル再生品)の混合物で法面を保護し鋼棒の埋め込みにより地山の補強および連続繊維補強土と地山との一体化を図ることで法面の安定保護と緑化を行う工法
9	NEW	チップバック工法	TH-030025	5	現場で発生した伐根材を10mm程度のチップ化しスキ取り土とともに緑化基盤材としてリサイクルする緑化工法
9	NEW	チップ緑化(バークブローア)工法	KT-030052	4	現場で発生した伐採材をチップ化し吹き付けることで法面保護を行い伐採材チップが堆肥化することで吹付種子の成長が促進される緑化工法
9	14	スチール透水蓋工法	QS-030044	4	排水性舗装の基層下部にスリット付鋼製溝蓋を有した排水溝を設置することで路面排水能力を向上させる工法
9	NEW	かんたん側溝	SK-010015	4	側溝底板開口部分に調整コンクリートを打設することで道路勾配に左右されことなく水路勾配を自由に設定することができるプレキャスト側溝

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成18年8月期)

## 新技術の活用【第2四半期(7~9月)ランキングトップ10】

平成18年 第2四半期の新技術活用ランキング

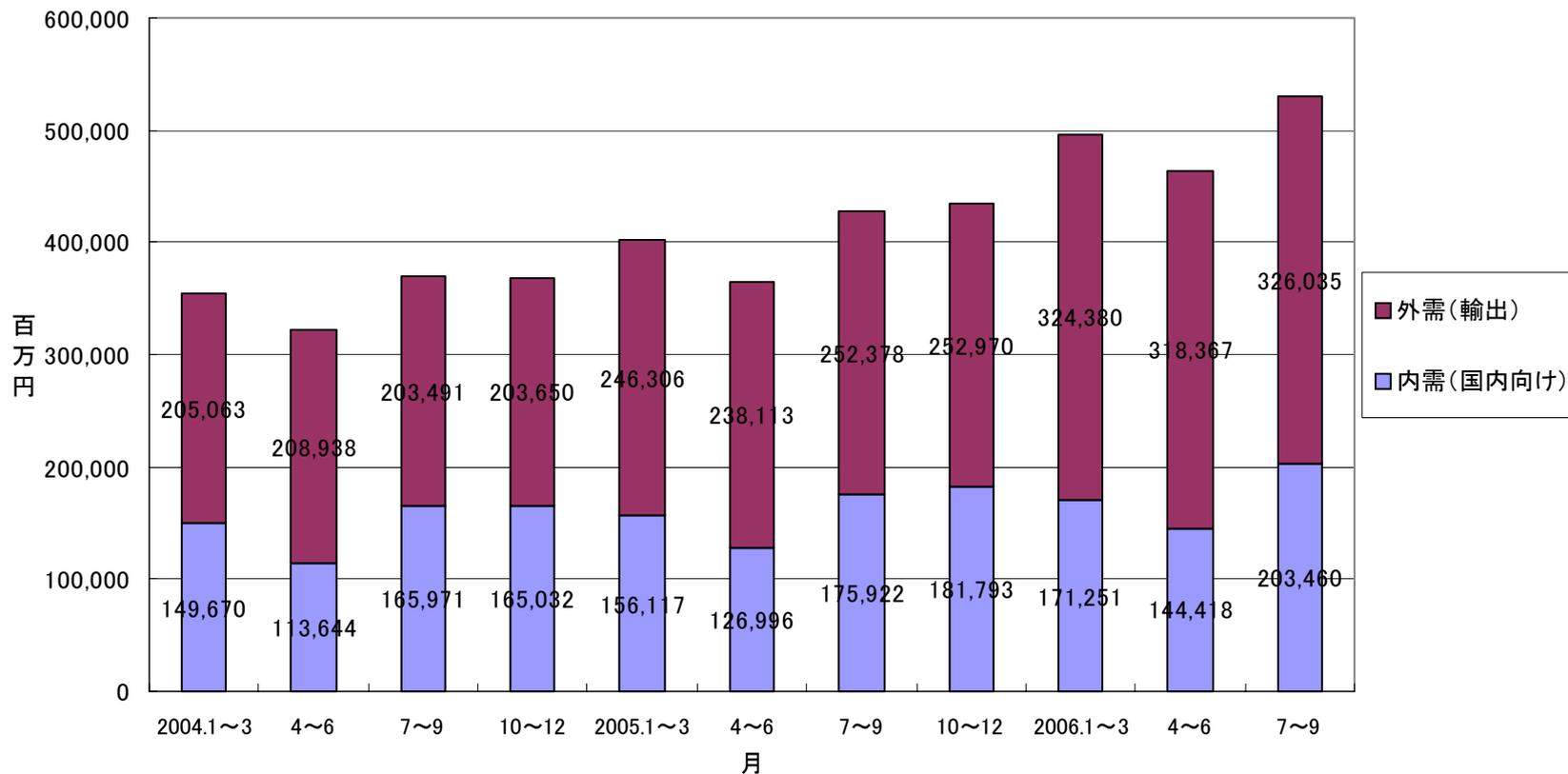
順位	技 術 名	NETIS番号	活用件数	技 術 の 概 要
1	手すり先行足場	KT-010074	23	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	W/Cミータ	HR-990025	20	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械（従来は単位容積当たり質量から水分量を算出＝エアメーター法）
2	ピタリング（簡易式体感マット）	TH-040016	20	リング上の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらない、もらい事故防止用体感マット
4	残存型枠工法「プロテロックピアスワンダー」	CB-980008	14	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
5	プレキャストコンクリート基礎工（高潮堤）	CB-990024	13	護岸工事の基礎部分に二次製品コンクリートを使用することで、現場でのコンクリート打設および養生期間を不要とする護岸基礎工法
5	枠組み足場用安全装置	TH-020019	13	従来の枠組足場に後付けすることで、転落事故を防止する手摺先行型足場としての使用が可能となる装備品
7	残存化粧型枠「プロテロックメーク」	CB-980007	12	表面に意匠性の有るコンクリート製化粧パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
7	道路舗装人孔鉄蓋後付工法「エポ工法」	CB-980048	12	舗装作業時に障害となる人孔上部を舗装終了後に舗装を円形に切断し設置することで舗装の作業性と平坦性を向上させた工法
7	排水性トップコート工法	KT-980202	12	排水舗装の表面に特殊な樹脂を散布し、強固な皮膜を形成させることにより、排水性機能を維持したまま、耐摩耗性や骨材飛散などに対する耐久性を向上させる工法
10	大型遠隔自動操縦除草機械の開発検討	HR-990023	11	安全対策として法面での転倒を防止するため低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
10	ワイヤーソーイング工法	KT-980222	11	ダイヤモンドチップを埋め込まれたループ状のステールワイヤーを高速回転させることにより糸ノコギリの要領で構造物を切断・解体する工法
10	リベースジョイント工法	QS-030004	11	Fe石灰処理土による路床構築を行い、路盤にFe石灰処理材を使用することでゲル状となった水酸化鉄が土粒子間の結合を強め、長期的に強度及び耐久性を向上させる路盤工法

注) 活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成18年第2四半期)

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)(四半期毎データ)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成18年9月現在)

# 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

## 平成18年 9月の新技術活用ランキング

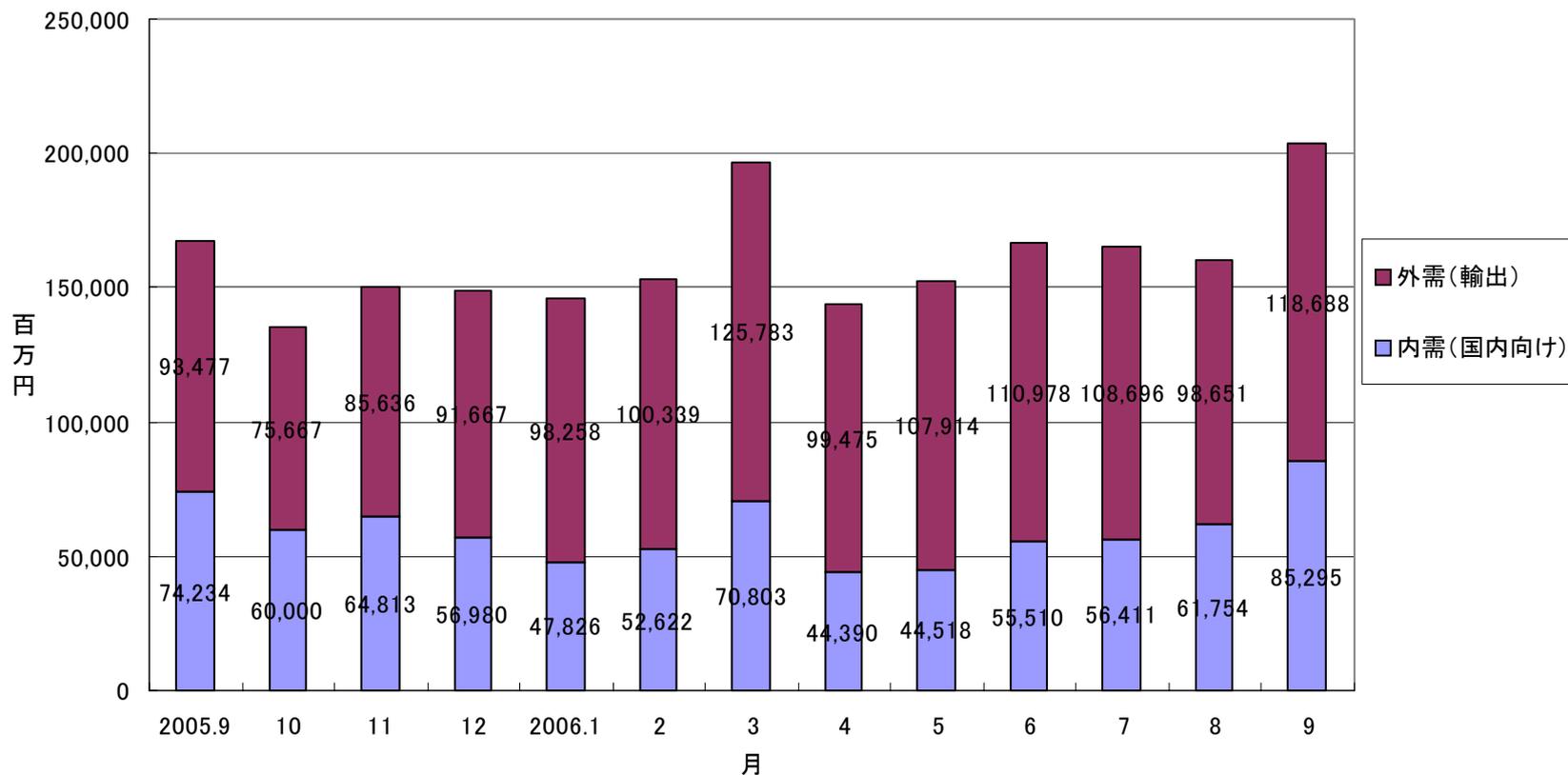
順位	前月 順位	技 術 名		活用 件数	技 術 の 概 要
			NETIS番号		
1	New	W/Cミータ	HR-990025	16	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械（従来は単位容積当たり質量から水分量を算出＝エアメータ法）
2	New	プレキャストコンクリート基礎工（高潮堤）	CB-990024	12	護岸工事の基礎部分に二次製品コンクリートを使用することで、現場でのコンクリート打設および養生期間を不要とする護岸基礎工法
3	41	残存型枠工法「プロテロックピアスワンダー」	CB-980008	11	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
3	New	リベースジョイント工法	QS-030004	11	Fe石灰処理土による路床構築を行い、路盤にFe石灰処理材を使用することでゲル状となった水酸化鉄が土粒子間の結合を強め、長期的に強度及び耐久性を向上させる路盤工法
5	41	残存化粧型枠「プロテロックメーク」	CB-980007	10	表面に意匠性の有るコンクリート製化粧パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
5	New	自走式土質改良機（SR-G2000）工法	KT-990459	10	建設発生土に自走式の土質改良プラントで固化材を加え、改質処理した後、現場内で再利用する残土処理工法
5	New	ピタリング（簡易式体感マット）	TH-040016	10	リング上の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらない、もらい事故防止用体感マット
8	25	プレキャスト護岸基礎工（コンクリート中詰め）	CB-990030	8	コンクリート製型枠に現場で発生したコンクリート殻を投入し、モルタル充填することで構造物の一部として利用可能とする護岸基礎工法
8	2	手すり先行足場	KT-010074	8	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
8	41	広幅型鋼矢板	KT-980158	8	従来の矢板（有効幅400mm）より幅の広い（有効幅600mm、900mm）矢板を使用することで矢板の使用枚数を減じ、工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工

注）毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
（活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映）

（平成18年9月期）

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)(月毎データ)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成18年9月現在)

## 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

### 平成18年 10月の新技術活用ランキング

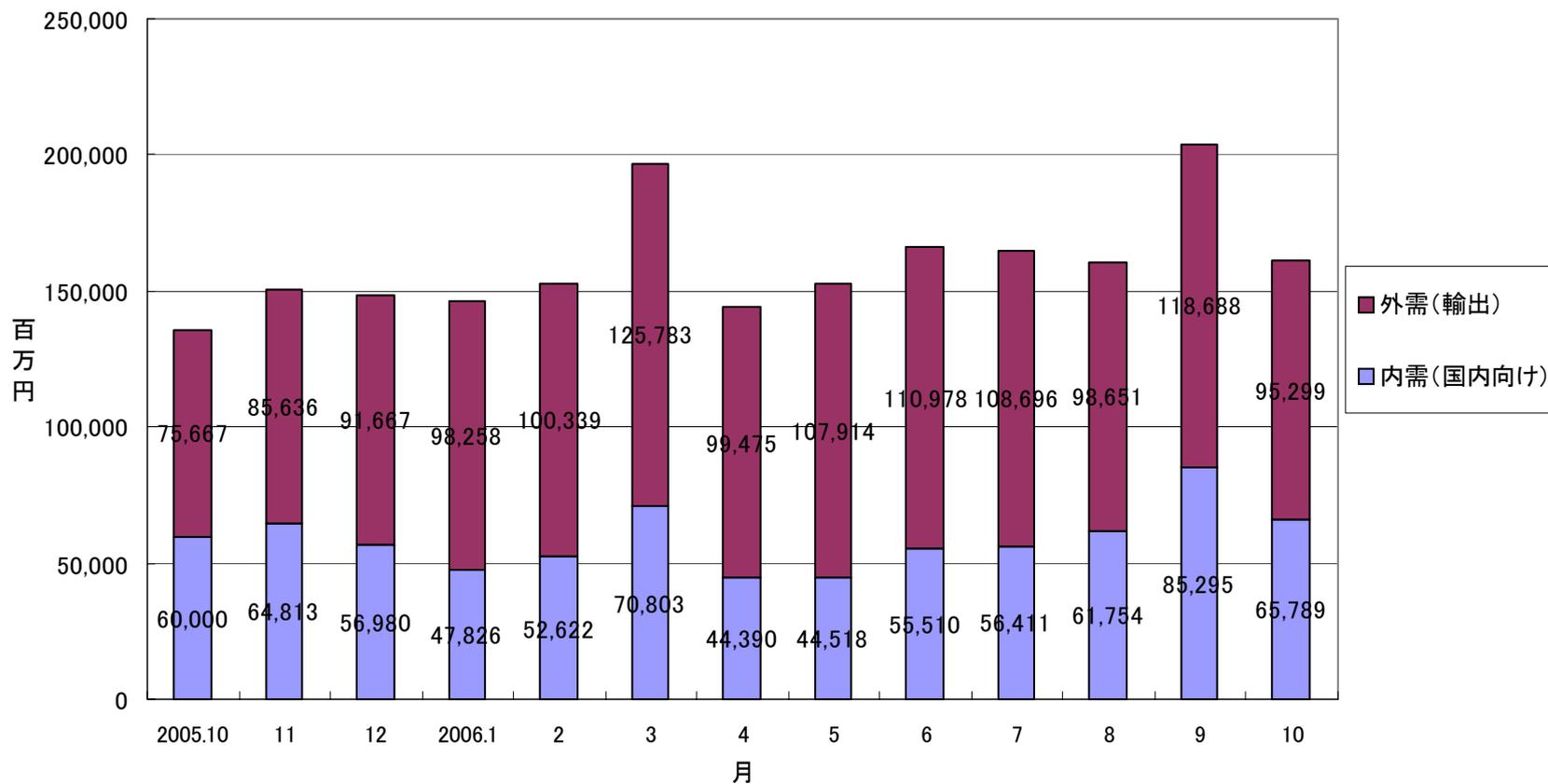
順位	前月 順位	技 術 名		活用 件数	技 術 の 概 要
			NETIS番号		
1	8	手摺先行型足場	KT-010074	11	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	39	ハット形鋼矢板900	KT-050017	11	断面形状をハット形とすることで鋼重あたりの断面性能を向上させ投影面積当りの材料費の縮減を図り、有効幅の拡大(400mmから900mm)による使用枚数の低減から工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工
3	1	W/Cミータ	HR-990025	10	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械(従来は単位容積当たり質量から水分費を算出=エアメーター法)
3	21	凍結防止剤散布車の自動化技術の開発	HR-990022	7	凍結防止剤を湿潤化して横風の影響を調整して散布することで飛散を防止し、ステンレス材の採用によりメンテナンス性を向上した凍結防止剤散布車
5	NEW	ダイプラハウエル管による道路下カルバート工の設計・施工方法	CB-980025	6	軽量でありながら管体強度が高く、変位性、耐衝撃性、耐食性・耐候性および水密性に優れた耐圧ポリエチレンリブ管(JIS K 6780)を使用することで施工性および経済性が向上するカルバート工
5	NEW	サンタックスパンシール誘発目地材	HR-990005	6	温度変化や乾燥による収縮等の影響でコンクリート構造物に発生するひび割れを所定の位置に集中させ、プチルゴム被覆により漏水および鉄筋の腐食を防止する誘発目地材
5	16	アデムウォール	KK-020061	6	アミラド繊維を芯材としたポリエチレン樹脂製の網目状ジオテキスタイルによる補強で盛土を自立させ、変形吸収層を設けてウォールブロックを設置することで土圧による壁面の変形を防止する擁壁工
8	NEW	ネッコチップ工法	CB-980067	5	現場で発生した伐採木を針状にチップ化し、現場発生土と混合することで緑化基盤材としてリサイクルする緑化工法
8	10	広幅型鋼矢板	KT-980158	5	従来の矢板(有効幅400mm)より幅の広い(有効幅600mm、900mm)矢板を使用することで矢板の使用枚数を減じ、工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工
8	16	ワイヤーソーイング工法	KT-980222	5	ダイヤモンドチップを埋め込まれたループ状のスチールワイヤーを高速回転させることにより糸ノコギリの要領で構造物を切断・解体する工法

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成18年10月期)

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成18年10月現在)

## 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

### 平成18年 11月の新技術活用ランキング

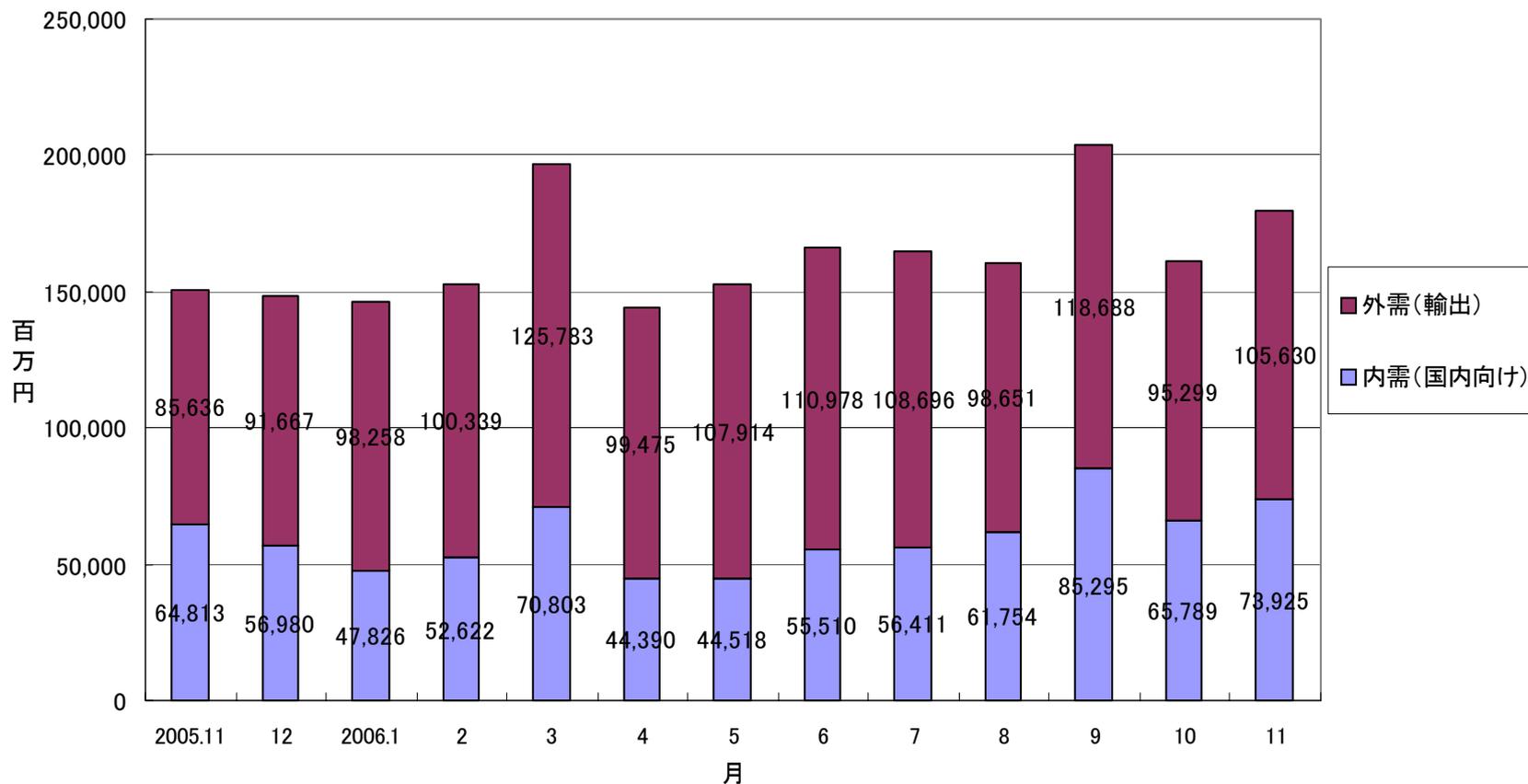
順位	前月 順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	17	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)	CB-980012	6	改良材をスラリー状に混練後、バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
1	17	サミーシート	KK-020053	6	ガラス長繊維クロスを防水機能を有する改質アスファルトで被膜し、舗装のクラック箇所に貼り付けることでクラックの抑制および耐久性の向上を図るシート
3	NEW	ザッソレス	KT-050065	5	耐暑性、耐寒性に優れ、他の植物の根の伸張を阻害する成分を茎葉部に多く含むため雑草の侵入を抑制する芝草
4	NEW	大型遠隔自動操縦除草機械の開発検討	HR-990023	4	安全対策として法面での転倒を防止するため、低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
4	1	手摺先行型足場	KT-010074	4	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
4	32	ジオファイバー工法	KT-980183	4	砂質土と連続繊維(回収ペットボトル再生品)の混合物で法面を保護し鋼棒の埋め込みにより地山の補強および連続繊維補強土と地山との一体化を図ることで法面の安定保護と緑化を行う工法
4	11	排水性トップコート工法	KT-980202	4	排水舗装の表面に特殊な樹脂を散布し、強固な皮膜を形成させることにより、排水性機能を維持したまま、耐摩耗性や骨材飛散などに対する耐久性を向上させる工法
4	65	FCB工法	KT-980624	4	細骨材とセメント、水および気泡を混合した気泡混合軽量土を用いることで単位体積重量および強度を任意に設定することができる盛土工法

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成18年11月期)

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成18年11月現在)

## 新技術の活用【第3四半期(10~12月)ランキングトップ10】

### 平成18年度 第3四半期の新技術活用ランキング

順位	技 術 名		活用 件数	技 術 の 概 要
		NETIS番号		
1	手摺先行型足場	KT-010074	18	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	ハット形鋼矢板 900	KT-050017	16	断面形状をハット形とすることで鋼重あたりの断面性能を向上させ投影面積当たりの材料費の縮減を図り、有効幅の拡大(400mmから900mm)による使用枚数の低減から工期の短縮及び施工費の低減を図る矢板工
3	FWDを用いた補修設計支援システム	KT-990157	12	ウエイトの落下による衝撃を受けた際の舗装のたわみ量を解析し、舗装の支持力を評価するシステム(従来は車両の移動による舗装面のたわみ量を所定の倍率で変位計に伝達し測定=ベンケルマンビーム式)
4	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)	CB-980012	11	改良材をスラリー状に混練後、バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
4	大型遠隔自動操縦除草機械の開発検討	HR-990023	11	安全対策として法面での転倒を防止するため低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
6	W/Cミータ	HR-990025	10	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械(従来は単位容積当たり質量から水分費を算出=エアメーター法)
6	排水性トップコート工法	KT-980202	10	排水舗装の表面に特殊な樹脂を散布し、強固な皮膜を形成させることにより、排水性機能を維持したまま、耐摩耗性や骨材飛散などに対する耐久性を向上させる工法
6	ワイヤーソーイング工法	KT-980222	10	ダイヤモンドチップを埋め込まれたループ状のスチールワイヤーを高速回転させることにより糸ノコギリの要領で構造物を切断・解体する工法
9	サンタックスパンシール誘発目地材	HR-990005	9	温度変化や乾燥による収縮等の影響でコンクリート構造物に発生するひび割れを所定の位置に集中させ、ブチルゴム被覆により漏水および鉄筋の腐食を防止する誘発目地材
9	サミーシート	KK-020053	9	ガラス長繊維クロスを防水機能を有する改質アスファルトで被膜し、舗装のクラック箇所に貼り付けることでクラックの抑制および耐久性の向上を図るシート
9	広幅型鋼矢板	KT-980158	9	従来の矢板(有効幅400mm)より幅の広い(有効幅600mm、900mm)矢板を使用することで矢板の使用枚数を減じ、工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工

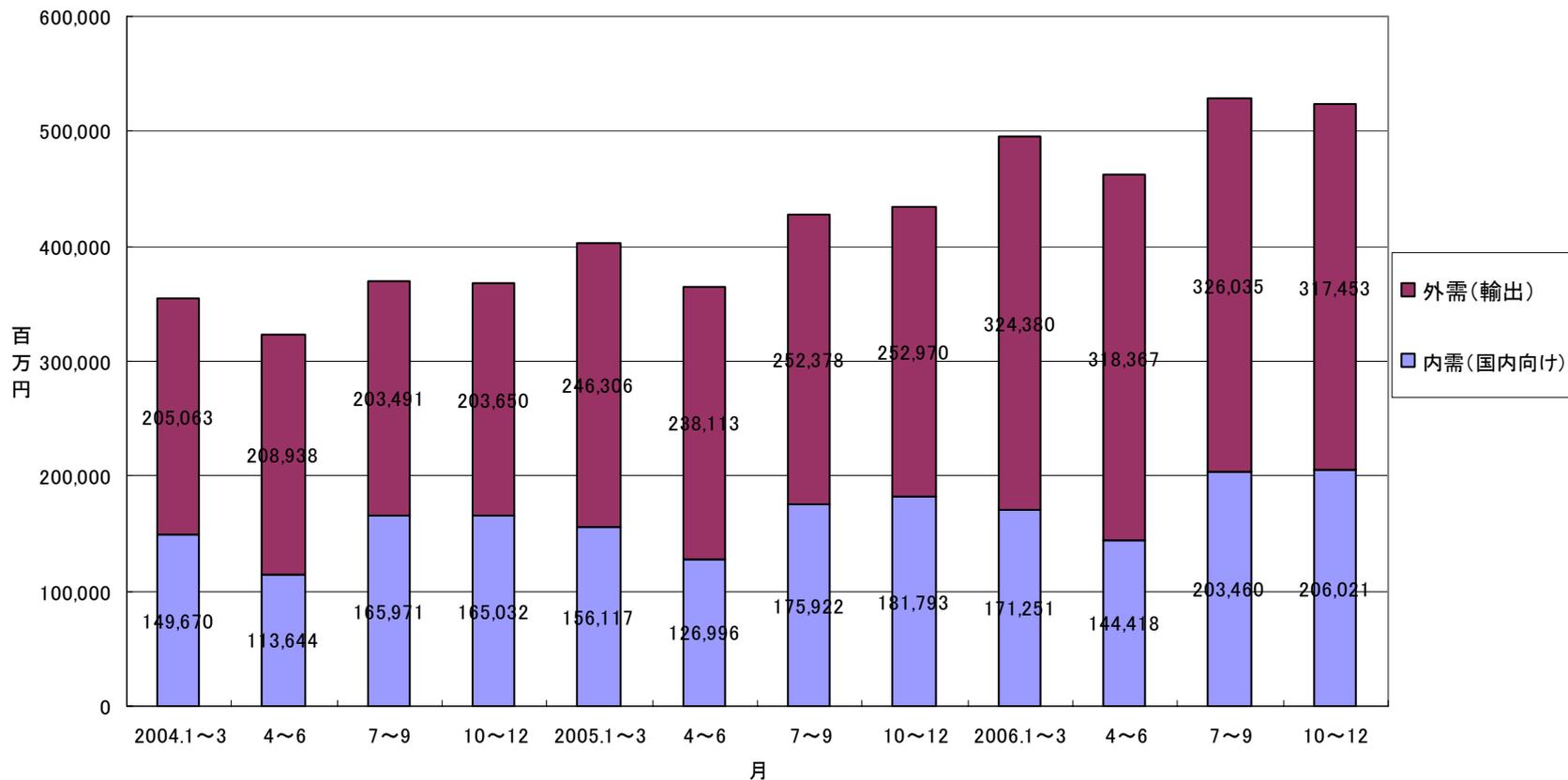
注) 活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。

(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成18年第3四半期)

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成18年12月現在)

# 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

## 平成18年 12月の新技術活用ランキング

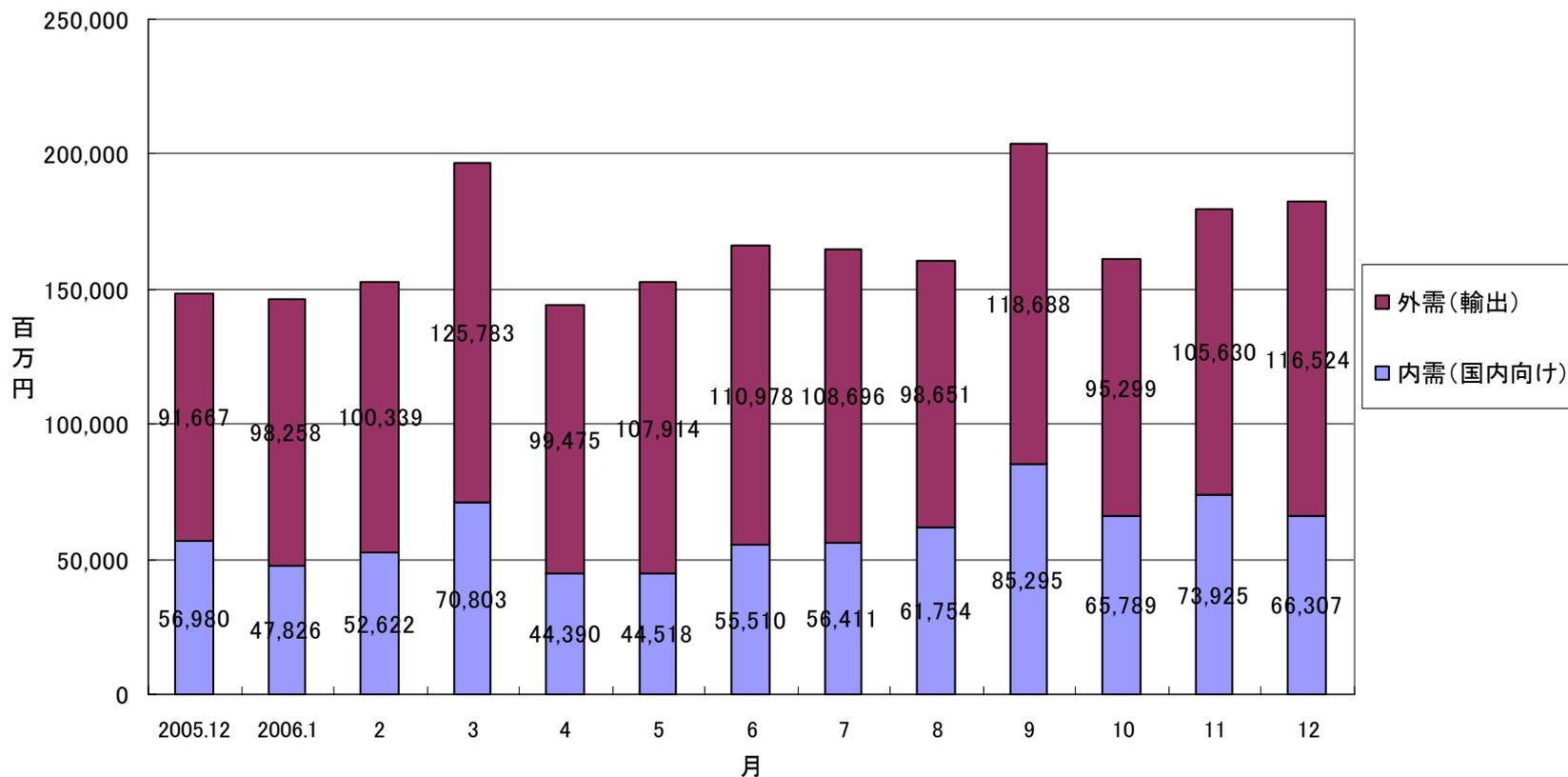
順位	前月 順位	技 術 名		活用 件数	技 術 の 概 要
			NETIS番号		
1	21	FWDを用いた補修設計支援システム	KT-990157	10	ウエイトの落下による衝撃を受けた際の舗装のたわみ量を解析し、舗装の支持力を評価するシステム(従来は車両の移動による舗装面のたわみ量を所定の倍率で変位計に伝達し測定=ベンケルマンビーム式)
2	4	大型遠隔自動操縦除草機械の開発検討	HR-990023	7	安全対策として法面での転倒を防止するため低重心にし、転倒した際にも作業員が事故に巻き込まれないよう遠隔からでも無線操縦可能な除草用機械
2	NEW	ショルダーブロック・ショルダーブロックシート	TH-050009	7	道路路肩部と法面部のブロックが丁番により接続されており荷重の分散ができるため、路肩部と法面部が一体化した従来の路肩ブロックに比べ厚みを少なくできるブロック
4	NEW	排水性舗装用区画線消去工法「Jリムーバー」	CB-000013	6	排水性舗装に表示された道路区画線を超高圧水噴射により路面を損傷することなく除去する工法
4	NEW	除雪グレーダのブレード自動制御装置	HR-010012	6	除雪グレーダのブレード押し付け力と切削力を負荷に応じて最適な状態に自動制御することでオペレータをハンドル操作に集中させ安全性と施工性の向上を図る自動制御装置
6	NEW	クラドレンP型	KT-000102	5	ポリエステル樹脂を筒状に編み込んでいるため、可撓性に優れ且つ曲がり癖のつきにくい排水性舗装用導水管
6	NEW	スリップフォーム工法	QS-980058	5	コンクリートの供給、締固め、成型までの機能を備えた施工機械を使用することで、型枠を設置せずに同一断面の連続したコンクリート構造物を構築する工法
8	NEW	紫外線硬化型ガラス繊維強化プラスチックシートによる照明柱根元防蝕及び道路構造物腐食部補修	CB-990022	4	紫外線を照射することで硬化するシートを切り貼りすることで金属柱などの防蝕、腐食補修およびコンクリートひび割れ部からの漏水対策等に効果を発揮する紫外線硬化型FRPシート
8	9	グリーンパネル工法	CG-010007	4	FRP製格子形状のパネルを法面補強材と固定することで法面を補強しつつ、パネルへの客土吹き付けによる全面緑化を可能とする切土補強工法
8	NEW	緩衝機能を有する桁間連結工法	KK-980043	4	桁間連結装置におけるピンの外周部に繊維を埋設したゴムを接着することで、衝撃力に対して緩衝効果を発揮し落橋防止装置の破壊を防ぐ連結ピン
8	9	鉛フリー固体潤滑剤埋め込み型軸受	KT-060033	4	材料に鉛を使用しない無給油タイプの摺動部滑り軸受け
8	54	ワイヤーソーイング工法	KT-980222	4	ダイヤモンドチップを埋め込まれたループ状のスチールワイヤーを高速回転させることにより糸ノコギリの要領で構造物を切断・解体する工法

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成18年12月期)

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成18年12月現在)

## 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

### 平成19年 1月の新技術活用ランキング

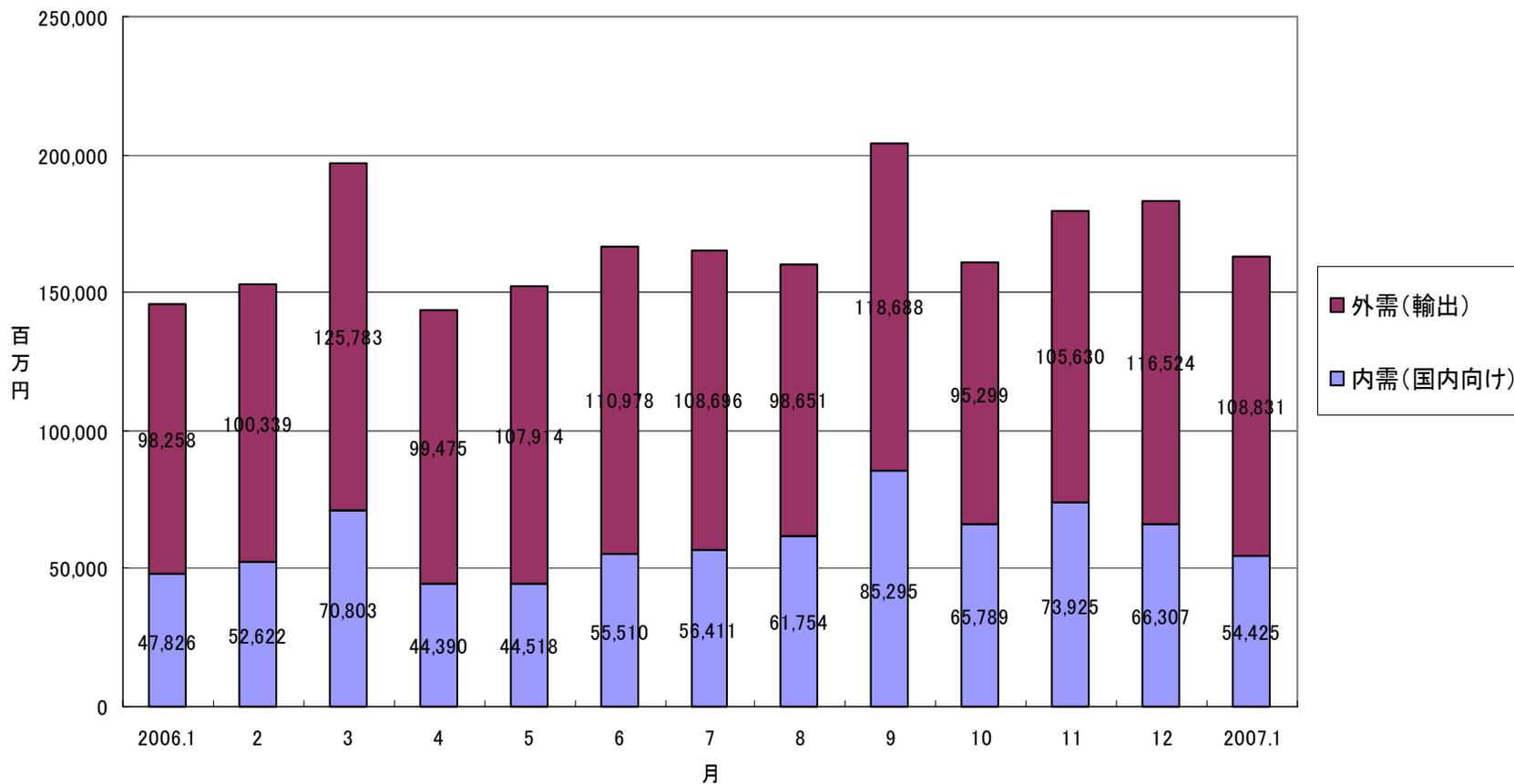
順位	前月 順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	56	広幅型鋼矢板	KT-980158	11	断面性能の向上により、従来の矢板(有効幅400mm)より幅を広げ(有効幅600mm、900mm)、矢板壁単位面積当たりの鋼材重量を低減した矢板
2	27	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)	CB-980012	8	改良材をスラリー状に混練後、バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
2	NEW	ローネット工(落石予防工)	SK-980038	8	浮石や転石が落下する恐れのある斜面に格子状にワイヤロープを張ることで落石に至らない要に初期始動を防止する予防工
4	27	超音波通信を応用した建設機械と周辺作業員等との接近検知・警報システム	TS-020002	7	建設機械に取り付けられた監視装置が監視エリア内にいる応答装置を付けた作業員を検知し、建設機械のオペレータ及び監視エリア内の作業員双方に警報を発信することで建設機械と作業員の接触事故等を防止する警報システム
5	27	排水性トップコート工法	KT-980202	6	排水舗装の表面に特殊な樹脂を散布し、強固な被膜を形成させることにより、排水性機能を維持したまま、耐摩耗性や骨材飛散などに対する耐久性を向上させる工法
6	56	高気密ステンレス排水管	CB-980013	5	ステンレス鋼のハゼ折り部分に撥水剤を密封しつつスパイラル成形することで製造された、軽量かつ耐蝕性に優れた排水管
6	13	手摺先行型足場	KT-010074	5	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
6	13	ニューネオソーラー	TH-020038	5	ニッケル水素電池を太陽電池により充電することで電池交換を不要とする道路工事用保安灯
9	NEW	オートリセットブレーカ・ATパック	CB-040087	4	落雷によるサージ電流および高調波等による漏電ブレーカーの誤動作に対して自動的に電源を再投入し、回路異常の場合は電源投入を停止する機能を有した高耐圧ブレーカ
9	NEW	サミーシート	KK-020053	4	ガラス長繊維クロスを防水機能を有する改質アスファルトで被膜し、舗装のクラック箇所に貼り付けることでクラックの抑制および耐久性の向上を図るシート
9	8	ワイヤーソーイング工法	KT-980222	4	ダイヤモンドチップを埋め込まれたループ状のスチールワイヤーを高速回転させることにより糸ノコギリの要領で構造物を切断・解体する工法
9	NEW	エコ電線・ケーブル	KT-990513	4	焼却してもダイオキシン、ハロゲンガス等の有毒ガスを発生せず、埋立処分しても鉛等の重金属を溶出しない難燃性ポリエチレンにより被覆されたケーブル
9	NEW	e ベース(一体型基礎ブロック)	SK-060001	4	護岸工において、基礎コンクリートと根入れブロックを一体化し、法覆工と基礎部の構築をプレキャストブロックにより構築することができる護岸基礎ブロック

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成19年1月期)

# 建設機械出荷金額

## 建設機械出荷金額(本体)



(出典:(社)日本建設機械工業会「建設機械出荷金額統計」平成19年1月現在)